

地域おこし協力隊通信 (No. 51)

島の大好きなことに、もっと没頭しよう (知史)

ポケットモンスターをご存じだろうか。縮めて、ポケモン。ゲームや漫画、アニメに至るまで、幅広い世代に人気のコンテンツだ。僕はちようどポケモン世代だったので、小さい頃から身の回りにはポケモンのぬいぐるみや筆箱みたいなグッズがあふれていた。そのポケモンに登場するとある島、「トクサネシティ」という場所のモデルが種子島らしいと知った僕は、好奇心に駆られ、ゲームを仙台の実家から取り寄せた。

トクサネシティには宇宙センターがあり、やはり心なしか島の形も種子島に近似している。ゲームをしているはずなのに、地図の中央あたりを「中種子」と呼ぶながら冒険をした。トクサネシティには、「白い岩」という謎の大きな岩が登場する。ゲームの中で謎に包まれていたその岩は、果たして種子島に実在するのだろうか。もしかしたら、何かモデルになったものがあるんじゃないだろうか。気になつて仕方なくなつた僕は、島中を探索した。

中種子と南種子にまたがる辺りと、その周辺。特に塩屋・原尾・長谷の付近だろうか。その辺りを車であてもなく彷徨つた。結局足を使つても白い岩は見つからなかつたけど、その過程を綴つた記事を書いたら、オモコ口杯というコンテストで金賞に選ばれた。奇跡だ。審査員からは、『企画のために無理やりやっているのではなく、著者が純粹に楽しんでるなというのが心地良かったです』とコメントが。このコメントを見て、ふつと気が付いた。

僕がやっていたことは、ある種のまちづくりだったのかもしれない。

— 湯目知史

みんな、島の大好きなことに、もっと没頭しよう。それが地域活性化とも言えるから。

(ゆのめともふみ) — 中種子町地域おこし協力隊員 宮城県出身

種子島の美しい瞬間を文字にして伝える。『ゆのめともふみ』で検索すると拙作がご覧になれます。

町の皆さんとお会いするなかで、よくいただく『地域おこし協力隊制度』や私達についての質問を、毎月少しずつ紹介したいと思います！

【第6回】『地域おこし協力隊』って何人いるの？



中種子町には地域おこし協力隊って、何人いるの？

現在は湯目夫婦の2人だよ。OBも2人いて、どちらも中種子町に定住しているんだ



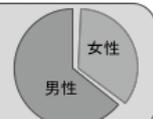
種子島内には何人いるの？

西之表市に6人、南種子町に1人いるよ

町ごとに活動内容は異なるよ！

男女比に偏りはあるのかな？

全国でみると、男性が6割、女性が4割だよ (令和元年データ)



地域おこし協力隊とは

全国に5466人おり、採用人数が多い地域(久米島等)では10人以上活動している地域もあるよ

募集人数に限りはないんだね。校区で活動する協力隊を募集することも出来るんだ

※総務省により1名以上の着任が望ましいとされており、協力隊の受け入れには、十分な体制とポートが必要です。

※ちなみに、年齢は全国でみると、地域おこし協力隊として募集した場合、7割が20,30代、2割が40代なんだって。